

佐須地区
地権者連絡会・復興まちづくり協議会

平成26年7月29日(火)
18:00～19:30

次 第

1. 市長からの挨拶
2. これまでの経緯
3. 土地利用計画
4. 今後のスケジュール
5. 住宅再建支援制度について
6. 意見交換

1. 市長からの挨拶

佐須地区 被災状況

被災家屋 16件(うち非住家 1件)

・自力再建(造成団地) 5件

・自らの土地に再建 1件

・自宅を修理 2件

・復興公営住宅 1件

佐須地区 1件(戸建)

・市内の別場所で再建 4件

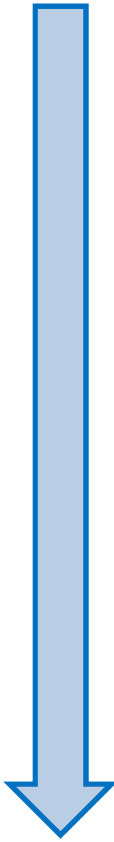
・その他 3件

2. これまでの経緯

2. これまでの経緯(平成25年度まちづくり協議会スケジュール)

平成25年8月28日(水)18:00～19:30

佐須地区連絡会 式次第

- 
- 土地利用計画図の提示
 - 今後のスケジュール
 - 災害危険区域の指定について

協議会での意見をふまえた計画の見直し

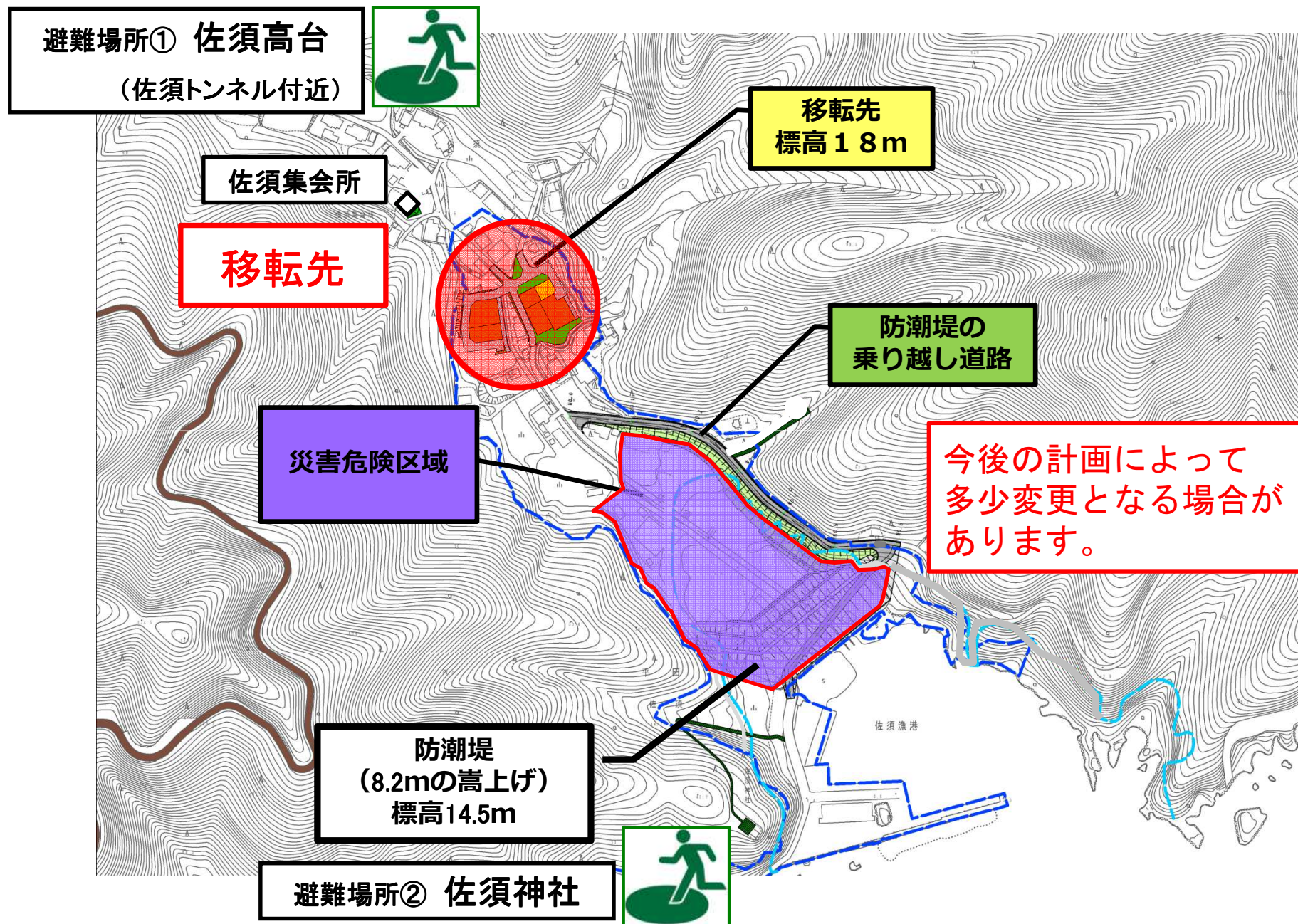
平成25年12月21日(土) 南ブロック安全祈願祭(平田)

平成26年 2月12日(水) 現地に目印(丁張)を設置

平成26年 3月26日(水) 住宅再建に係るまちづくり意見交換会

今回

佐須地区土地利用計画の概要



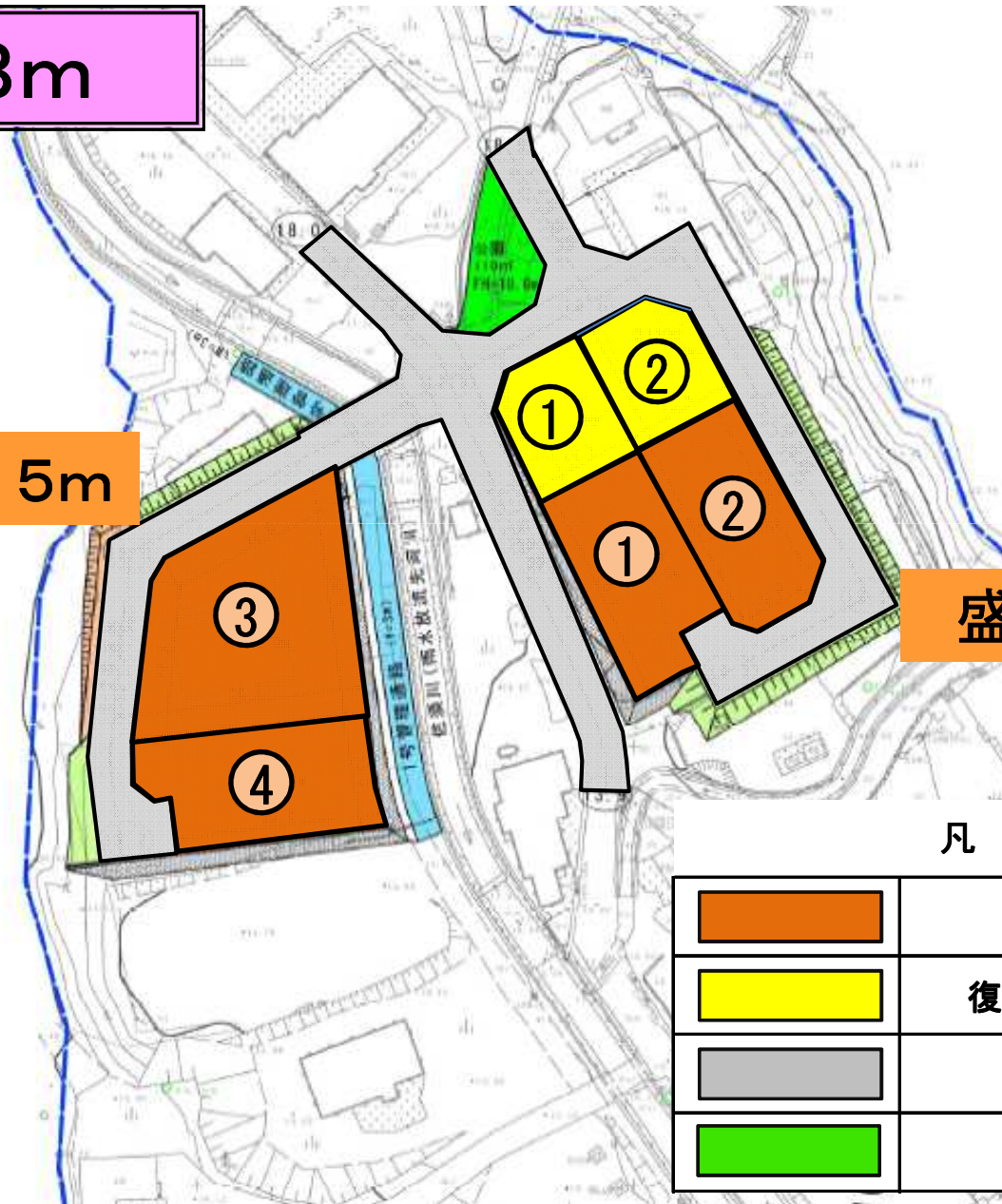
3. 土地利用計画

前回提示した土地利用計画案





標高18m

盛土高 約1.5m

盛土高 約1m

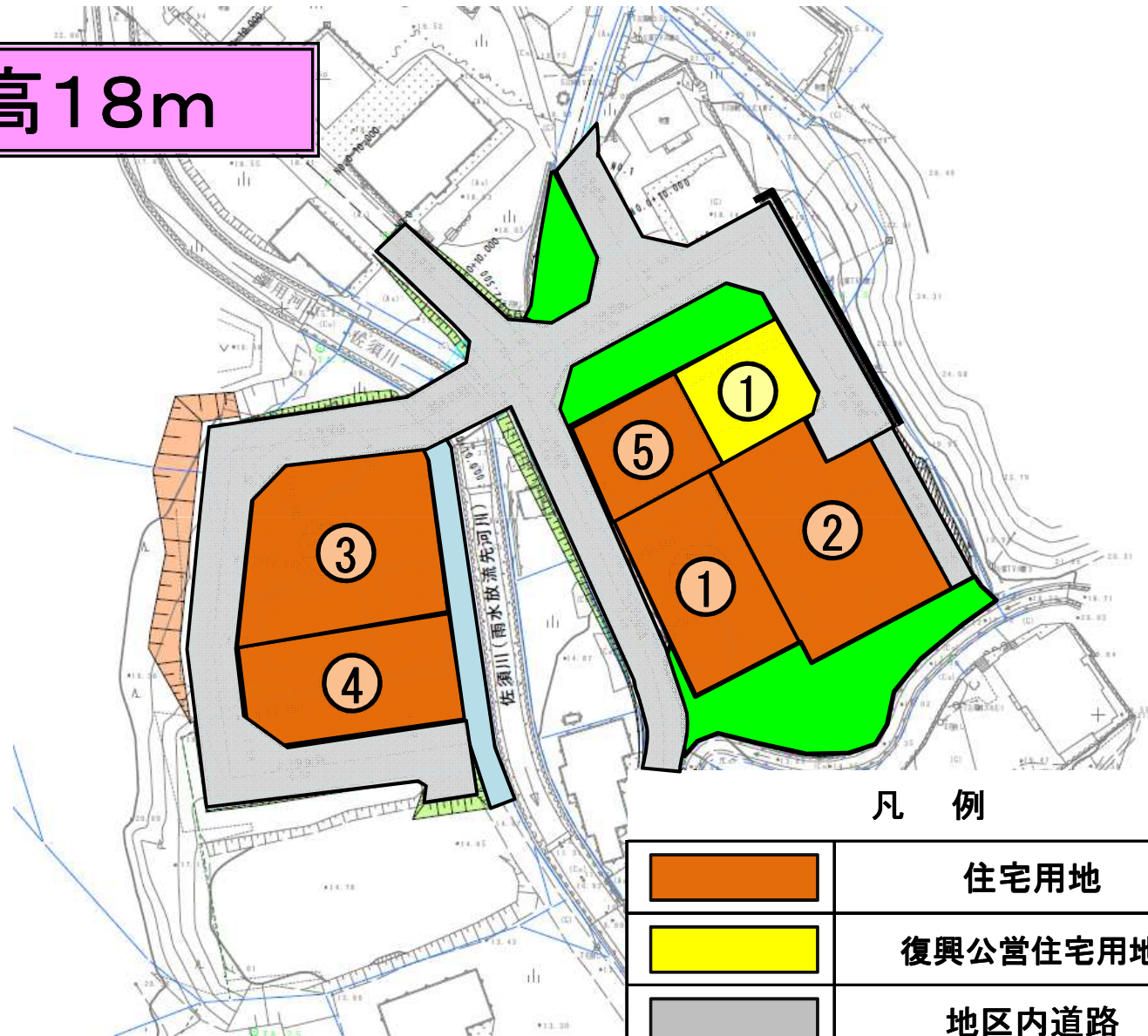


凡 例



	住宅用地
	復興公営住宅用地
	地区内道路
	公園緑地

土地利用計画案

標高18m



凡 例

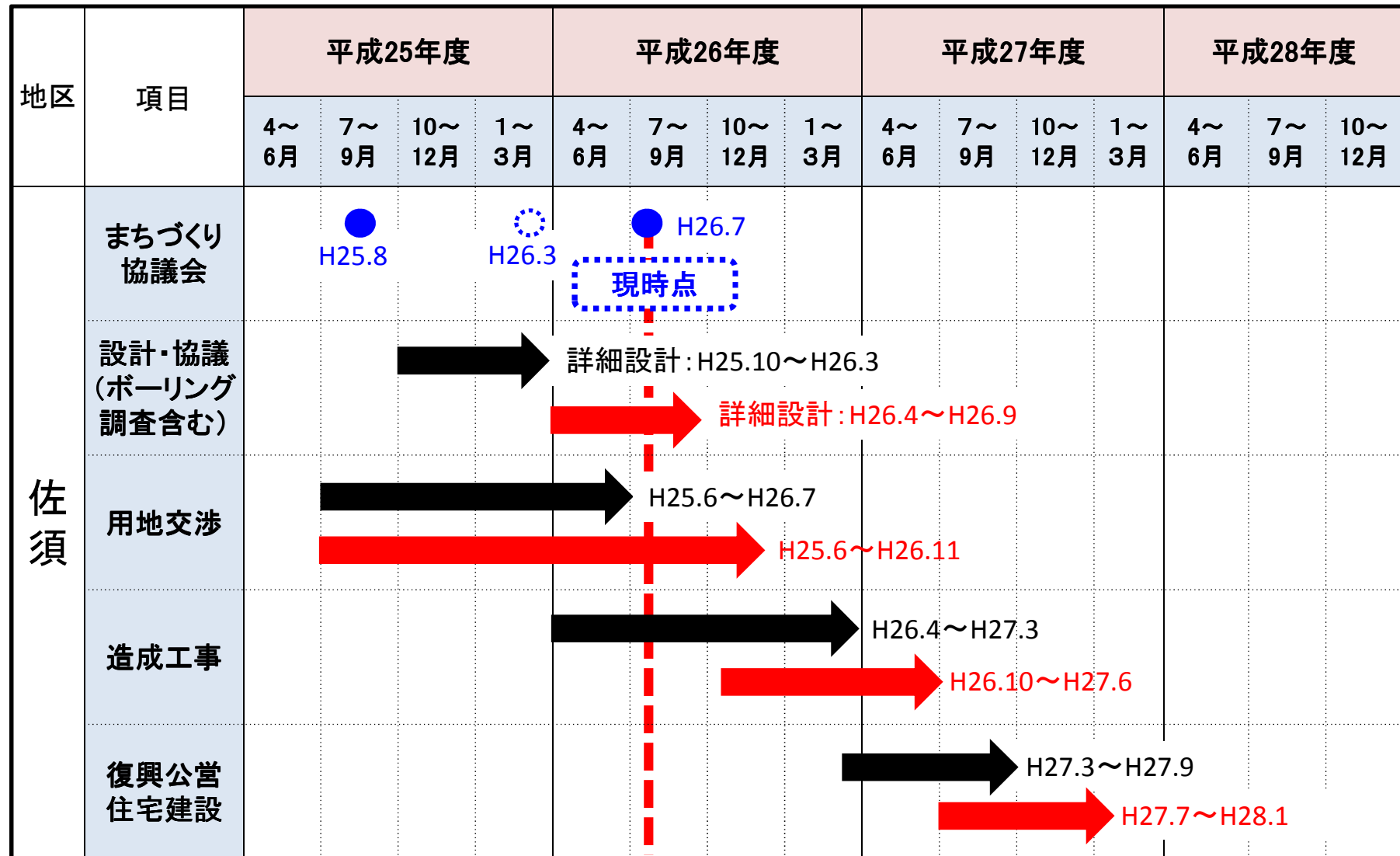
	住宅用地	5戸
	復興公営住宅用地	1戸
	地区内道路	
	公園緑地	

4. 今後のスケジュール

実施スケジュール案(佐須)

※進捗状況に応じて前後します。

○住宅再建に係るまちづくり意見交換会



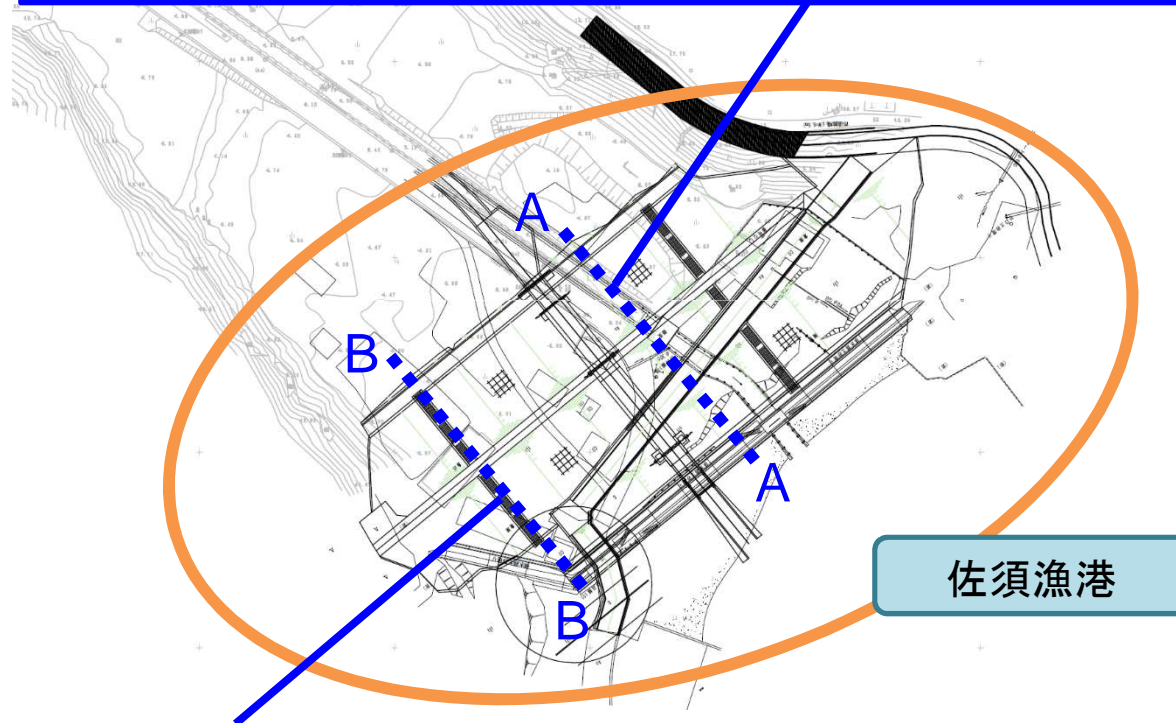
※防潮堤スケジュールは別紙

防潮堤の整備

A-Aの断面図

陸側

海側

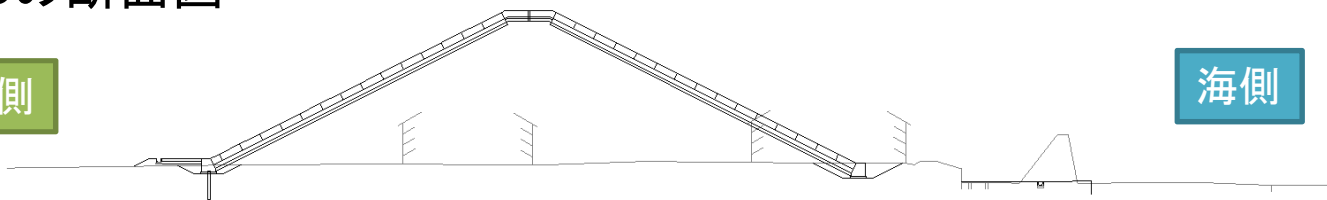


佐須漁港

B-Bの断面図

陸側

海側



防潮堤の整備スケジュール(予定)

平成26年 7月末 詳細設計完了

8月中 登記所等用地図作成協議

9月 国県設計協議

12月 工事発注

※工期は工事発注後2～3年を予定しています。

5. 住宅再建支援制度について

住宅再建支援制度の拡充について

被災住宅の区域		①災害危険区域		②土地区画整理事業区域		③その他					
事業区分		防災集団移転 促進事業	がけ地近接等 危険住宅移転事業	土地区画整理事業	自力再建					公営住宅等	
被災住宅の所有形態		持ち家					持ち家又は賃貸				
住宅の再建方法		新築					中古住宅購入		補修・改修	公営住宅等	
住宅を再建する場所		集団移転	自力移転	換地	自力移転	現地再建	自力移転	自力移転	現地再建	—	
住宅用地確保の方法		購入等	購入等	換地	購入等（買い換え）	（自己所有）	購入等	購入等	（自己所有）	—	
支 援 内 容	生活再建支援金（加算支援金）	200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 200万円 （150万円）	※1 —	
	住宅再建支援補助	100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 100万円 （75万円）	※1 —	—	
	新築等工事助成 （ﾊﾞﾘｱﾌﾞﾙ：90万円、県産材：40万円）	130万円	130万円	130万円	130万円	130万円	130万円	—	—	—	
	補修等工事助成 （補修：30万円、ﾊﾞﾙｸ：60万円、県産：20万円、耐震：60万円）	—	—	—	—	—	—	140万円	140万円	—	
	市 単 独 補 助 金	住宅再建支援補助	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	100万円 ※1（75万円）	—	—
		嵩上げ補助	—	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	—	—
		引越代	—	—	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円（※1）	5万円
		利子補給	—	—	250万円	250万円	250万円	250万円	250万円	—	—
		市産材活用	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	—	—
	防災集団移転促進事業・がけ地 近接等危険住宅移転事業	利子補給	722万円	722万円	—	—	—	—	—	—	—
		除却等費補助金	80万円	80万円	—	—	—	—	—	—	—
	浄化槽設置費補助金		102.9万円	102.9万円	102.9万円	102.9万円	102.9万円	102.9万円	—	—	—
	新エネルギー等導入補助金		13万円	13万円	13万円	13万円	13万円	13万円	13万円	—	—
合計		1,547.9万円 （1,447.9万円）	※1 1,597.9万円 （1,497.9万円）	※1 1,050.9万円 （950.9万円）	※1 1,050.9万円 （950.9万円）	※1 1,050.9万円 （950.9万円）	※1 1,050.9万円 （950.9万円）	※1 960万円 （858万円）	※1 345万円 （295万円）	※1 5万円	

被災者生活再建支援制度

(加算支援金・国) 平成30年4月10日まで

【支給額】単身：150万円 複数：200万円

- 基礎支援金を受給した方が、自立再建をする場合に支給される。

		建設・購入	賃借 (公営住宅以外)
支給額	複数世帯	200万円	50万円
	単身世帯	150万円	37.5万円

- 一旦住宅を賃借した後、自らの住宅を建設・購入する際は、賃借額を差引いた額を支給する。

被災者住宅再建支援事業補助金

(県) 平成30年度末まで

【補助額】 単身:75万円 複数:100万円

- ・ 住宅が全壊又は半壊以上で解体した世帯の方が市内に住宅を建設・購入した場合に補助する。
- ・ 被災時に遡って適用する。
- ・ 工事代金か購入価格が補助額に満たない場合は、その金額まで。

災害復興住宅新築等工事助成事業 補助金

(県) 平成30年度末まで

(1) バリアフリー対応工事

- ・『高齢者等配慮対策等等級3』以上の基準を満たす住宅。
- ・店舗や事務所等の併用住宅の場合は、居住専用部分が対象となる。

【補助額】

- ・75m²未満:40万円
- ・75～120m²未満:60万円
- ・120m²以上:90万円

災害復興住宅新築等工事助成事業 補助金

(県) 平成30年度末まで

(2) 県産材使用工事

10m³以上の県産材を使用する住宅であること。

【補助額】

- 10～20m³未満 : 20万円
- 20～30m²未満 : 30万円
- 30m³以上 : 40万円

釜石市単独被災者住宅再建支援 事業補助金

(市) 平成30年度末まで

【補助額】 単身:75万円 複数:100万円

- ・ 住宅が全壊又は半壊以上で解体した世帯の方が市内に住宅を建設・購入した場合に補助する。
- ・ 被災時に遡って適用する。
- ・ 工事代金か購入価格が補助額に満たない場合は、その金額まで。
- ・ 復興公営住宅に入居した世帯は対象外。

市単独被災者住宅再建支援事業 補助金（引越補助） 平成30年度末まで

【補助額】 一律 5 万円

- ・ 被災した方が市内に住宅を建設・購入又は復興公営住宅等に入居する場合、引越に係る費用として一律5万円を補助。
- ・ 被災時に遡って適用する。

市単独被災者住宅再建支援事業 補助金（利子補給） 平成30年度末まで

【補助額】 最大 2 5 0 万円

- ・ 住宅が全壊又は半壊以上で解体した世帯の方が市内に住宅を建設・購入した場合、金融機関から融資を受けた際の利息分を補助する。
- ・ 利息分を一括して支給する。
- ・ 被災した父母、祖父母の住宅再建のために子や孫が借入した場合も対象となる。

釜石産木材活用住宅推進事業

- 釜石産木材を 10m^3 以上利用して住宅を新築する場合、木材の使用量に応じて助成する。
- 県産材の補助を受けていても、重複して補助を受けることができる。

【補助額】

- $10\sim 20\text{m}^3$ 未満 : 50万円
- $20\sim 30\text{m}^3$ 未満 : 75万円
- 30m^3 以上 : 100万円

- 各個人によって受け取れる制度や金額が違います。

個別に相談ください。

ありがとうございました。

6. 意見交換
